

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月12日

【四半期会計期間】 第49期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

【会社名】 株式会社ジェーシー・コムサ

【英訳名】 JC Comsa Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 和田 隆 介

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区恵比寿南一丁目15番1号

【電話番号】 03(5722)7261

【事務連絡者氏名】 専務取締役CFO 今 井 福 三

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区恵比寿南一丁目15番1号

【電話番号】 03(5722)7261

【事務連絡者氏名】 専務取締役CFO 今 井 福 三

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第2四半期 連結累計期間	第49期 第2四半期 連結累計期間	第48期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	7,650,876	7,997,637	15,999,112
経常利益 (千円)	252,508	548,530	725,932
四半期(当期)純利益 (千円)	80,937	261,125	414,524
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	72,335	262,031	411,868
純資産額 (千円)	2,625,764	3,161,547	2,965,217
総資産額 (千円)	8,328,628	8,792,824	8,906,050
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	9.98	31.81	50.81
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	31.0	35.4	32.8
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	88,869	427,395	658,286
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	47,828	62,606	98,952
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	2,895	595,554	278,432
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,272,441	1,462,168	1,692,934

回次	第48期 第2四半期 連結会計期間	第49期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.03	14.15

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景として緩やかな景気の回復が見られたものの、欧州金融危機や長期化する円高の懸念、株価の低迷など、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

食料品・外食業界におきましても、デフレ傾向や雇用情勢の悪化懸念などによる、消費者の生活防衛意識からくる節約志向や低価格競争により、厳しい経営環境が続いています。

このような経営環境の中で、当社グループは経営理念としている「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供する」ことを一貫して追い求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,997百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は554百万円（同94.1%増）、経常利益は548百万円（同117.2%増）、四半期純利益は261百万円（同222.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

食料品事業（ピザ関連事業）

業務用製品では引き続き重点自社製商品『デルソーレイレブン』の販売強化、『小麦ごはん』という新感覚の提案型商品戦略の強化、新規取引先の開拓および新規ユーザーへの積極的な提案営業の推進、新規販売チャンネルへの取り組み、マーケティング分析による新商品の開発等を実施することで、売上の伸長、収益の確保、増大を図ってまいりました。

また、生産部門におきましては原材料調達コストの改善、変動労務費の削減、製品の歩留まり改善、品質管理の強化を通じて生産性の向上を図ってまいりました。

その結果、売上高は5,190百万円（前年同四半期比7.7%増）、セグメント利益は727百万円（同48.8%増）となりました。

外食事業

外食業界におきましては、東日本大震災の影響は薄らぎつつあるものの、依然として個人消費の低迷が続く、経営環境は厳しい状況が続いております。

主力業態である「一番どり」「燻鶏」につきましては、店舗毎のQSCの見直し、磨き込みにより売上高の拡大に取り組んでまいりました。また、人件費では、労働生産性の改善等による徹底したコスト

コントロールを継続して行ってまいりました。

宅配事業におきましては、収益基盤の構築を経営テーマに掲げ、オペレーション力の強化に取り組ましました。

この結果、売上高は2,807百万円（前年同四半期比0.8%減）、セグメント利益は95百万円（同78.3%増）となりました。

海外事業

海外事業におきましては、セグメント損失は14百万円（前年同四半期はセグメント損失41百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、1,462百万円となり、前年同四半期末より189百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主として仕入債務の増加による資金の増加がありましたが、たな卸資産の増加及び法人税等の支払額の増加などによる資金の減少があり、427百万円の資金増加（前年同四半期に比べ516百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として固定資産の取得による支出が増加したことにより62百万円の資金減少（前年同四半期に比べ14百万円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として借入による収入が減少したことにより595百万円の資金減少（前年同四半期に比べ592百万円の減少）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	14,000,000
計	14,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,477,890	8,477,890	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株 であります。
計	8,477,890	8,477,890	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月30日	-	8,477,890	-	823,810	-	1,026,521

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
大河原 愛子	東京都港区	2,519	29.71
大河原 毅	東京都港区	1,684	19.87
株式会社ニチレイフーズ	東京都中央区築地6丁目19 - 20	255	3.01
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7 - 1	215	2.54
株式会社商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲2丁目10 - 17	200	2.36
日清製粉株式会社	東京都千代田区神田錦町1丁目25	180	2.12
ジェーシー・コムサ従業員持株会	東京都渋谷区恵比寿南1丁目15 - 1	160	1.90
株式会社味泉	千葉県流山市大字西深井727 - 5	150	1.77
和田 隆介	東京都世田谷区	136	1.60
伊藤 誠	東京都渋谷区	92	1.09
計		5,592	65.96

(注) 上記のほか当社所有の自己株式268,468株(3.16%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 268,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,161,000	8,161	-
単元未満株式	普通株式 48,890	-	-
発行済株式総数	8,477,890	-	-
総株主の議決権	-	8,161	-

(注) 単元未満株式欄の普通株式には、当社所有の自己株式468株及び証券保管振替機構名義の株式200株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ジェー シー・コムサ	東京都渋谷区恵 比寿南一丁目15 番1号	268,000	-	268,000	3.16
計	-	268,000	-	268,000	3.16

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人双研社による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,993,434	1,702,668
受取手形及び売掛金	2,279,505	2,357,834
商品及び製品	300,802	362,415
原材料及び貯蔵品	228,517	329,679
その他	230,283	243,656
貸倒引当金	4,208	3,546
流動資産合計	5,028,335	4,992,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,147,220	4,103,163
減価償却累計額	2,937,405	2,989,575
建物及び構築物(純額)	1,209,814	1,113,587
その他	3,156,140	3,210,940
減価償却累計額	2,151,080	2,212,186
その他(純額)	1,005,059	998,754
有形固定資産合計	2,214,874	2,112,341
無形固定資産		
投資その他の資産	51,711	50,292
敷金及び保証金	887,287	887,281
その他	748,614	774,515
貸倒引当金	24,773	24,315
投資その他の資産合計	1,611,129	1,637,481
固定資産合計	3,877,714	3,800,116
資産合計	8,906,050	8,792,824
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,300,931	1,464,330
短期借入金	905,800	748,800
未払法人税等	162,414	268,446
賞与引当金	128,809	98,881
その他	844,051	800,253
流動負債合計	3,342,007	3,380,711
固定負債		
長期借入金	1,545,850	1,177,450
退職給付引当金	412,672	423,010
役員退職慰労引当金	111,590	126,285
資産除去債務	473,707	471,728
その他	55,004	52,091
固定負債合計	2,598,824	2,250,564
負債合計	5,940,832	5,631,276

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	823,810	823,810
資本剰余金	1,079,079	1,079,079
利益剰余金	1,030,685	1,226,134
自己株式	3,856	3,880
株主資本合計	2,929,719	3,125,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,849	8,246
繰延ヘッジ損益	1,206	381
為替換算調整勘定	233	151
その他の包括利益累計額合計	5,408	8,476
少数株主持分	40,906	44,880
純資産合計	2,965,217	3,161,547
負債純資産合計	8,906,050	8,792,824

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,650,876	7,997,637
売上原価	4,364,426	4,471,233
売上総利益	3,286,450	3,526,404
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	1,312,683	1,273,769
賞与引当金繰入額	73,572	75,312
退職給付費用	28,193	21,745
役員退職慰労引当金繰入額	16,176	15,495
その他	1,570,088	1,585,324
販売費及び一般管理費合計	3,000,713	2,971,647
営業利益	285,736	554,756
営業外収益		
受取利息	217	142
受取配当金	765	738
受取賃貸料	3,601	3,178
受取保険金	331	4,066
受取手数料	668	840
受取補償金	-	16,398
貸倒引当金戻入額	300	360
その他	3,105	3,298
営業外収益合計	8,991	29,024
営業外費用		
支払利息	28,990	22,233
持分法による投資損失	1,870	1,238
その他	11,357	11,778
営業外費用合計	42,219	35,250
経常利益	252,508	548,530
特別利益		
固定資産売却益	-	1,000
特別利益合計	-	1,000
特別損失		
退職給付制度改定損	38,060	-
減損損失	9,364	50,073
固定資産売却損	-	99
固定資産除却損	55	17
店舗閉鎖損失	235	290
特別損失合計	47,715	50,481
税金等調整前四半期純利益	204,792	499,048
法人税、住民税及び事業税	153,299	253,934
法人税等調整額	22,611	19,985
法人税等合計	130,687	233,949
少数株主損益調整前四半期純利益	74,105	265,098
少数株主利益又は少数株主損失()	6,832	3,973
四半期純利益	80,937	261,125

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	74,105	265,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	226	1,397
繰延ヘッジ損益	1,743	1,587
持分法適用会社に対する持分相当額	252	82
その他の包括利益合計	1,769	3,067
四半期包括利益	72,335	262,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,167	258,057
少数株主に係る四半期包括利益	6,832	3,973

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	204,792	499,048
減価償却費	156,284	153,311
減損損失	9,364	50,073
退職給付引当金の増減額(は減少)	55,932	10,337
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,724	14,695
賞与引当金の増減額(は減少)	32,981	29,928
受取利息及び受取配当金	983	880
支払利息	28,990	22,233
受取補償金	-	16,398
売上債権の増減額(は増加)	131,787	78,328
たな卸資産の増減額(は増加)	37,757	162,775
仕入債務の増減額(は減少)	175,793	163,398
その他	83,369	36,649
小計	12,033	588,136
利息及び配当金の受取額	989	884
利息の支払額	28,763	21,828
法人税等の支払額	49,061	139,797
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,869	427,395
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	34,500	70,000
定期預金の払戻による収入	34,666	130,000
有形固定資産の取得による支出	31,816	128,118
無形固定資産の取得による支出	7,240	7,971
投資有価証券の取得による支出	1,145	1,129
関係会社株式の取得による支出	6,000	-
貸付金の回収による収入	1,336	50
店舗立退による収入	-	7,815
敷金及び保証金の差入による支出	15,111	1,750
敷金及び保証金の回収による収入	13,946	1,774
その他	1,963	6,722
投資活動によるキャッシュ・フロー	47,828	62,606
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	-
長期借入金の返済による支出	520,400	525,400
少数株主からの払込みによる収入	49,000	-
配当金の支払額	63,699	63,280
自己株式の増減額(は増加)	38,790	24
その他	6,585	6,849
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,895	595,554
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	139,592	230,766
現金及び現金同等物の期首残高	1,412,034	1,692,934
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,272,441	1,462,168

【追加情報】

(連結子会社の解散について)

平成24年8月20日開催の当社取締役会において解散を決議した、当社の連結子会社である株式会社ジェーシー・エヌエフ・ジャパンは、平成24年8月22日開催の同社株主総会において、平成24年8月31日付の会社解散決議を行っております。なお、同社は、現在清算手続き中であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	7,870千円	12,030千円
支払手形	59,168千円	-千円
流動負債「その他」	4,593千円	-千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	1,572,941千円	1,702,668千円
預入期間3ヶ月超の定期預金	300,500千円	240,500千円
現金及び現金同等物	1,272,441千円	1,462,168千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	63,652	8.00	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	65,676	8.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	食料品事業 (ピザ関連事業)	外食事業	海外事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,820,523	2,830,006	346	7,650,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-
計	4,820,523	2,830,006	346	7,650,876
セグメント利益又は損失 ()	488,803	53,758	41,496	501,064

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	501,064
全社費用(注)	296,271
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	204,792

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	食料品事業 (ピザ関連事業)	外食事業	海外事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,190,159	2,807,477	-	7,997,637
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-
計	5,190,159	2,807,477	-	7,997,637
セグメント利益又は損失 ()	727,347	95,837	14,296	808,887

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	808,887
全社費用（注）	309,839
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	499,048

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	9円98銭	31円81銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	80,937	261,125
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	80,937	261,125
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,107	8,209

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月9日

株式会社 ジェーシー・コムサ
取締役会 御中

監査法人 双 研 社

代表社員
業務執行社員 公認会計士 野 中 泰 弘 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 木 本 恵 輔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジェーシー・コムサの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジェーシー・コムサ及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。